



日本プライマリ・ケア連合学会
中国 ブロック支部 活動報告

発行人：松下明
事務局 〒708-1323 岡山県勝田郡
奈義町豊沢 292-1
奈義ファミリークリニック内
Tel. 0868-36-3012

中国ブロック支部では以下の活動を行ないました。

第5回日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会

平成 26 年 5 月 10 日 (土) 11 日 (日)

<場所>岡山コンベンションセンター

<http://www.c-linkage.co.jp/jpca2014/>

http://www.igaku-shoin.co.jp/paperDetail.do?id=PA03078_01

http://www.igaku-shoin.co.jp/paperDetail.do?id=PA03077_03

4000 人近い参加者（有料参加者数 3,885 名、招待者等の 98 名を合わせると 3983 名）を迎え、「家族の力と地域の力—これからのプライマリ・ケアの姿を求めて—」をテーマに活発な学術集会を行う事ができました。約 1 年間をかけて実行委員会を毎月行い、テーマに沿ったプログラム作りを行いました。大会を準備した際に気を付けた点は以下の通りです。

- 1) 家族志向のケアと地域での多職種連携・多職種教育をテーマとして実行委員会企画のシンポジウム・講演・WS を企画しました。
- 2) 会場の規模や参加者数、同時進行の企画を減らす目的で公募 WS や学会のテーマ以外の実践型 WS はしぼりました（公募 WS を期待しておられた皆様すみませんでした。夏季・秋季・冬季セミナーで WS はたくさんありますので、今回はより学術集会らしさを追求しました）。
- 3) 学術発表としてより光るものを目立たせ、一方で地域の取り組み発表がより目立つように両者の発表を時間帯や場所を変えてそれぞれが【光る】工夫をこらしました。
- 4) 看護師、薬剤師、リハビリ職種、ケアマネなど様々な職種の人が楽しめ、医学生、研修医、指導医、地域の医師などすべての年代の人が学べる内容に工夫をこらしました。
- 5) 学術発表の後に論文を書いてみよう、サポートを受けてみようという気持ちになってもらえるように論文作成関連の講演や WS を複数配置しました。
- 6) 海外からの参加者や演者がおられましたので、大ホールの講演やシンポジウムはスライドを 2 か国語対応できるように心掛けました。

結果としてはとても良い学術大会になったと思いますが、会場が手狭で、大会長講演・特別講演が聞けない人が出る状況となり申し訳なく思います。一般演題も立ち見が出る状況ですすみませんでした。

学術大会準備を通して、中国ブロックの取り組みの活性化が行われましたので、今後の発展が期待できそうです。また学術大会では中国ブロック支部功労賞の発表を行い、佐藤医院（岡山市）の佐藤涼介先生が受賞されました。禁煙プロジェクトや在宅医療の推進に積極的に活動されておられる先生です。

（文責 中国ブロック支部長 松下明 社会医療法人清風会 岡山家庭医療センター 奈義ファミリークリニック）